

平成 30 年度

# 県民世論調査

高知県

---

---

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査目的

社会情勢の変化に伴い、県民の価値観が多様化する中であって、県民のニーズ、意識等を把握し、県政運営の基礎資料とするため、県民を対象とした世論調査を実施する。

### 2. 調査項目

- (1) 県の基本政策について
- (2) 第3期産業振興計画 ver.3 について
- (3) がん検診について
- (4) ジェネリック医薬品の使用促進について
- (5) 地域地域で安心して住み続けられる県づくりについて
- (6) 人口減少社会を踏まえた女性の活躍促進について
- (7) いじめ防止対策について
- (8) 夜間中学について
- (9) 動物（犬猫）の愛護及び管理について

### 3. 調査設計

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| (1) 調査地域 | 高知県全域                     |
| (2) 調査対象 | 満18歳以上の県民                 |
| (3) 標本数  | 3,000人                    |
| (4) 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法（市町村の選挙人名簿より抽出） |
| (5) 調査方法 | 郵送法                       |

### 4. 回収状況

- (1) 有効回収数 1,634（54.5%）

### 5. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このために、その比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記（0.0%）を省略している。

## 8. 夜間中学について

### 夜間中学って知っていますか。

夜間中学とは、

- 様々な理由で義務教育を受けることができなかった人、
  - 不登校等で十分に学校で学ぶことができなかった人、
  - 本国で義務教育を受けていない外国籍の人、
- を対象に、夜間に授業を行う公立中学校の夜間学級のことです。



- 授業は無償です。
- 週5日間、毎日授業があります。
- 通常の中学校と同じ科目を学習します。
- 運動会や修学旅行などの学校行事もあります。
- 全ての課程を修了すると中学校の卒業となります。

### 高知県教育委員会では、公立の夜間中学設立のため、ニーズ把握調査をしています。



国勢調査（H22）によると、県内には約1,062人の義務教育未修了の方がいることや、外国籍の人や不登校経験者など、中学校での学び直しを必要としている方がいます。県では、こうした方たちに、夜間中学を設置し、学習の場を提供したいと考えています。

あなたご自身や親族、友人などのうち、夜間中学に興味のある方や通ってみたい方はいませんか。

夜間中学についてのお問い合わせやご要望は、高知県教育委員会事務局までお寄せください。

＜高知県教育委員会事務局 高等学校課＞

電話：088-821-4846

FAX：088-821-4547

メールアドレス：311701@ken.pref.kochi.lg.jp

ホームページ



\* 詳しくは、同封のリーフレット「『夜間中学』を知っていますか」をご覧ください。

問 38 あなたご自身や親族、友人などのうち、夜間中学に興味のある方や通ってみたい方はいませんか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,634 人)

	項目	回答数	回答比率
1	いる	42	2.6%
2	いない	1,513	92.6%
	無回答	79	4.8%

副問 1 (問 38 で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
それは誰ですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 42 人)

	項目	回答数	回答比率
1	あなた自身(ご本人)	25	59.5%
2	子ども	2	4.8%
3	両親	1	2.4%
4	その他の親族	9	21.4%
5	友人	8	19.0%
	無回答	1	2.4%

副問 2 (問 38 で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
夜間中学に通わせたい人の年齢を教えてください。(1つだけ○印)

(回答者数 42 人)

	項目	回答数	回答比率
1	13歳～15歳	6	14.3%
2	16歳～19歳	-	-
3	20歳～35歳	12	28.6%
4	36歳～50歳	9	21.4%
5	51歳～65歳	2	4.8%
6	66歳～75歳	7	16.7%
7	76歳以上～	2	4.8%
	無回答	4	9.5%

副問 3 (問 38 で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
なぜ通いたい、通わせたいと思いますか。(いくつでも○印)

(回答者数 42 人)

	項目	回答数	回答比率
1	戦後の混乱期で小学校に行くことができなかった	2	4.8%
2	戦後の混乱期で中学校に行くことができなかった	-	-
3	家庭の都合や金銭的な理由により小学校に行くことができなかった	3	7.1%
4	家庭の都合や金銭的な理由により中学校に行くことができなかった	5	11.9%
5	病気やけがのため、小学校に行くことができなかった	-	-
6	病気やけがのため、中学校に行くことができなかった	2	4.8%
7	不登校等の理由により小学校からほとんど学校に行くことができなかった	6	14.3%
8	不登校等の理由により中学校からほとんど学校に行くことができなかった	13	31.0%
9	外国籍で、日本の中学校にあたる教育を受けていない	-	-
10	外国籍で、日本語での読み書き、話すことができない	1	2.4%
11	その他	9	21.4%
	無回答	9	21.4%

もしあなたのまわりに、夜間中学に興味のある方や通ってみたい方がいましたら、この調査票に同封されているリーフレット「『夜間中学』を知っていますか」をお渡しください。

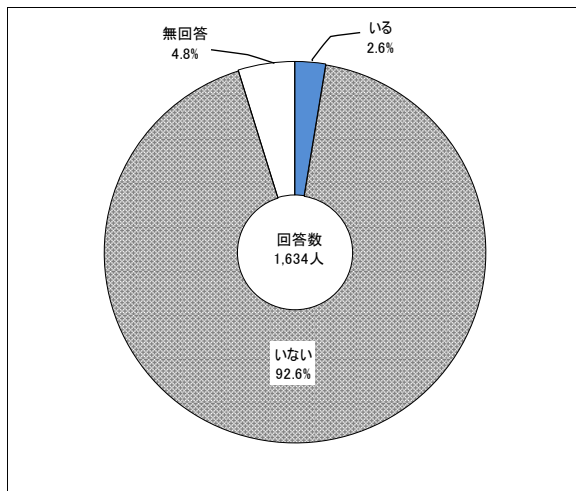
## 8. 夜間中学について

### (1) 周りに夜間中学に興味がある方や通ってみたい方がいるかについて

問38 あなたご自身や親族、友人などのうち、夜間中学に興味のある方や通ってみたい方はいませんか。(1つだけ○印)

【総合】 「いる」が2.6%となっている。

#### 《総合》



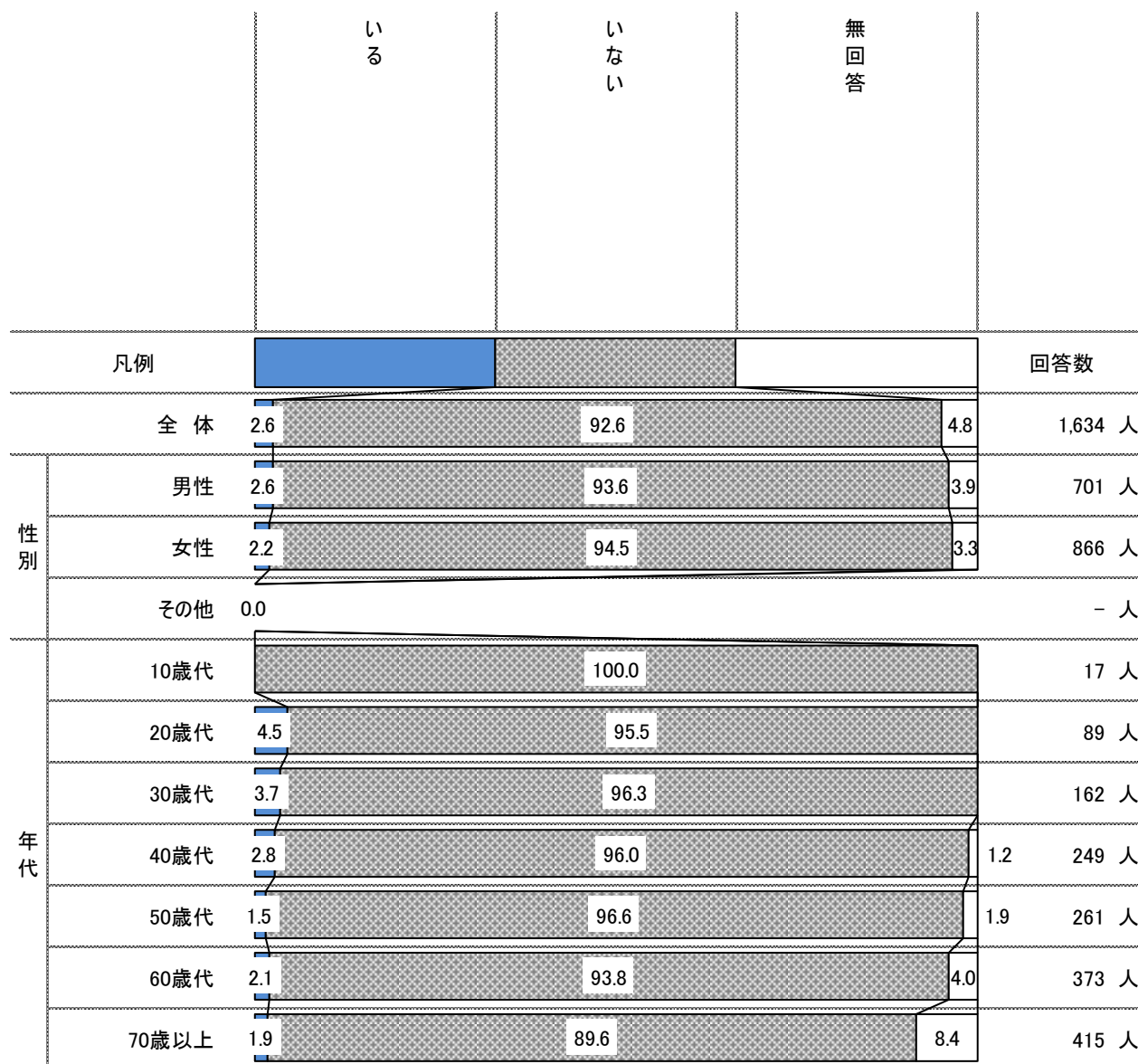
**【性別】**

男女とも「いる」が2%程度となっている。

**【年代別】**

20歳代の4.5%が「いる」と回答している。

《性別・年代別》

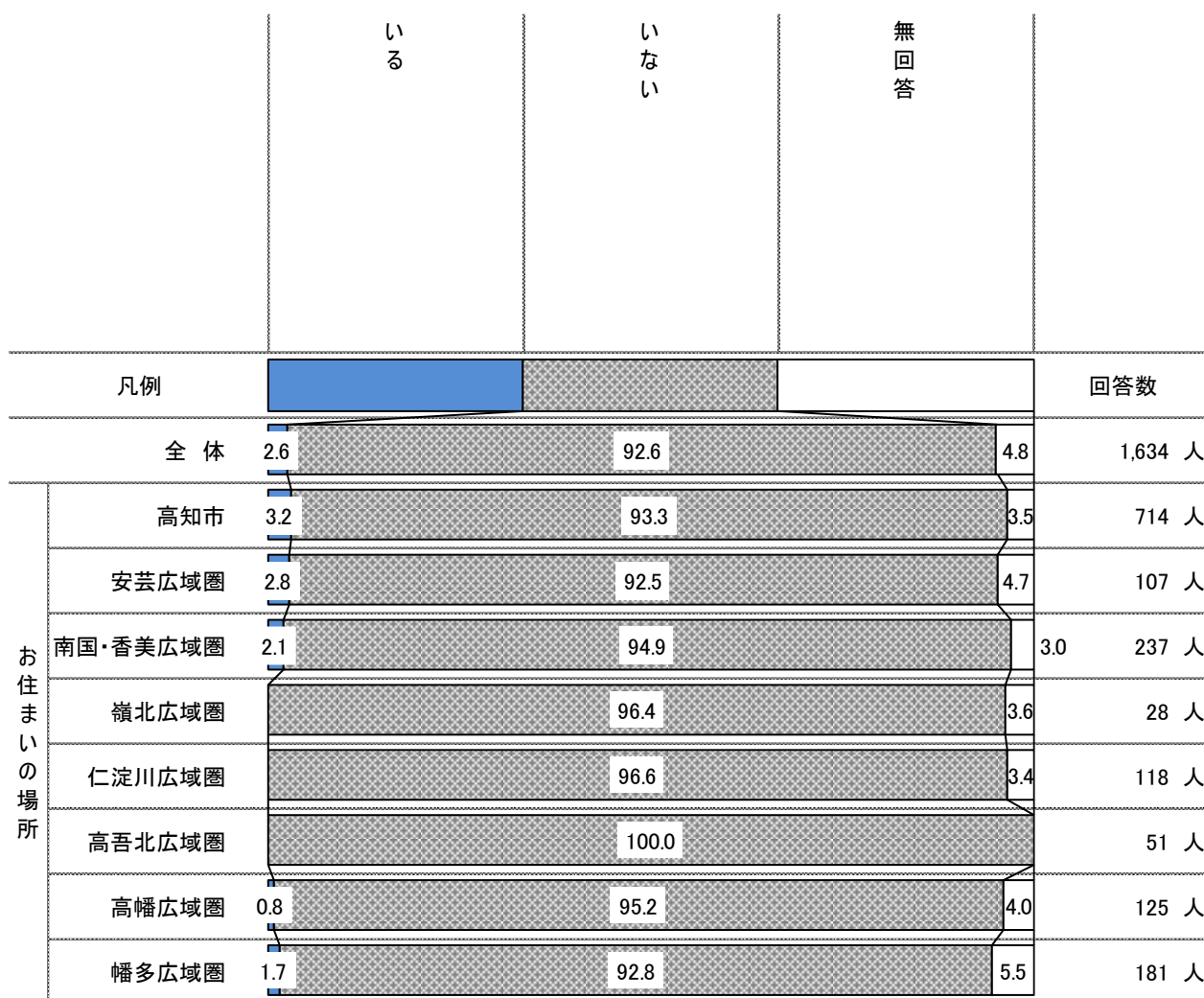


グラフ単位：(%)

【お住まいの場所別】

高知市にお住まいの3.2%が「いる」と回答している。

《お住まいの場所別》



グラフ単位: (%)

## (2) 夜間中学に興味、通ってみたい方との続柄について

副問1 (問38で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
それは誰ですか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】 「あなた自身(ご本人)」が59.5%と1位になっている。  
次いで「その他の親族」が21.4%、「友人」が19.0%と続いている。

### 《総合》

		回答数
全体	100.0	42 人
あなた自身(ご本人)	59.5	25 人
その他の親族	21.4	9 人
友人	19.0	8 人
子ども	4.8	2 人
両親	2.4	1 人
無回答	2.4	1 人

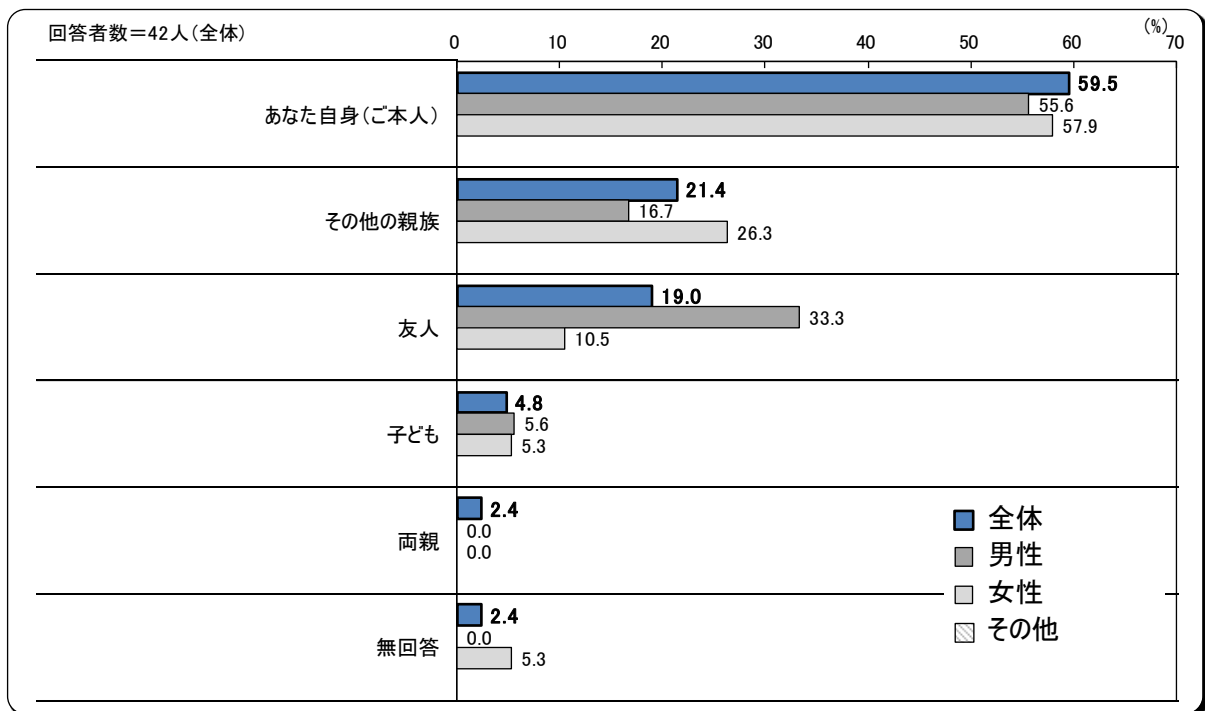
グラフ単位：(%)



【性別】

男女とも「総合」と同じ傾向になっている。

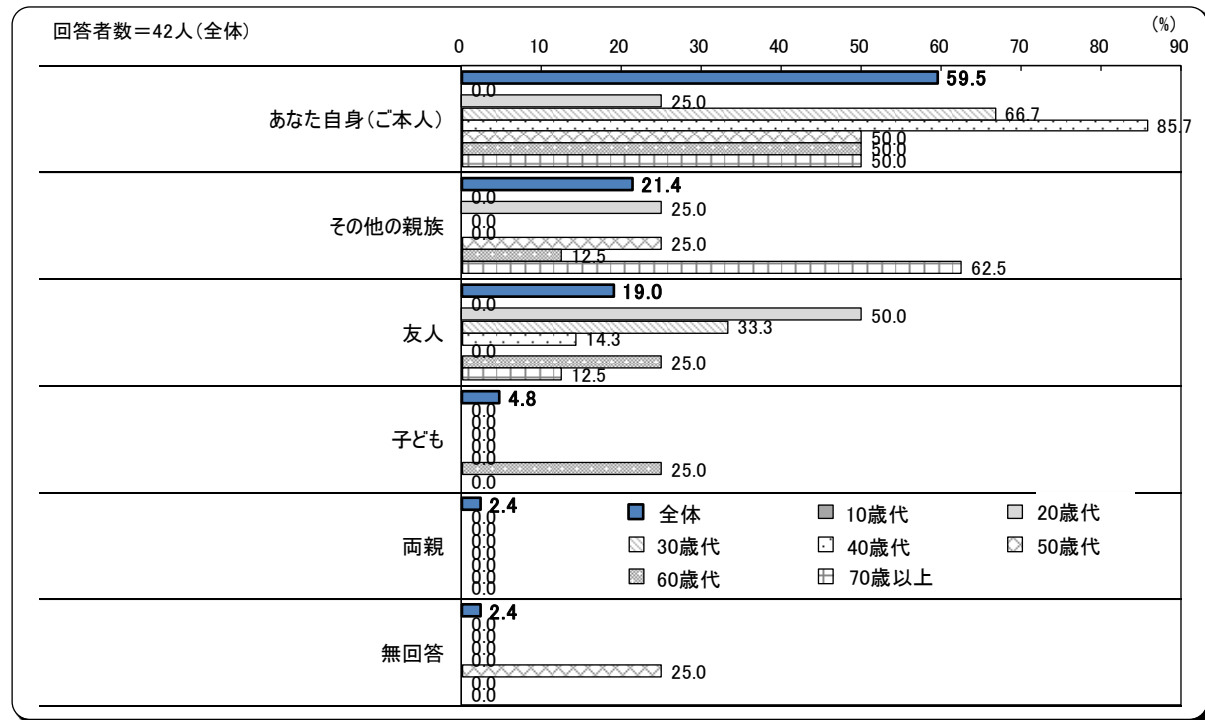
《性別》



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「あなた自身(ご本人)」の割合が高くなっている。

《年代別》



【お住まいの場所別】

嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏を除くすべてのお住まいの場所で「あなた自身（ご本人）」の割合が高くなっている。

＜お住まいの場所別＞

		全体	あなた自身 （ご本人）	子ども	両親	その他の親族	友人	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)		全体	25 59.5	2 4.8	1 2.4	9 21.4	8 19.0	1 2.4
		お住まいの場所	高知市	23 52.2	8.7	-	17.4	26.1
	安芸広域圏	3 66.7	-	-	66.7	-	-	-
	南国・香美広域圏	5 40.0	-	-	20.0	40.0	-	-
	嶺北広域圏	-	-	-	-	-	-	-
	仁淀川広域圏	-	-	-	-	-	-	-
	高吾北広域圏	-	-	-	-	-	-	-
	高幡広域圏	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	幡多広域圏	3 100.0	-	-	-	-	-	-

### (3) 夜間中学に通わせたい人の年齢について

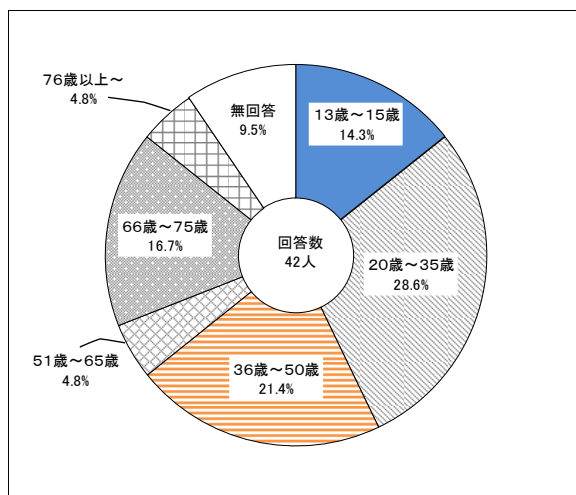
副問2 (問38で「1」を選んだ方のみお答えください。)

夜間中学に通わせたい人の年齢を教えてください。(1つだけ○印)

【総合】 「20歳～35歳」が28.6%と1位になっている。

次いで「36歳～50歳」が21.4%、「66歳～75歳」が16.7%と続いている。

#### 《総合》



## 【クロス分析】

「通わせたい人の年齢」が13歳～15歳では「家庭の都合や金銭的な理由により中学校に行くことができなかった」、「不登校等の理由により中学校からほとんど学校に行くことができなかった」の回答が、20歳～35歳、36歳～50歳では「不登校等の理由により中学校からほとんど学校に行くことができなかった」の回答が、51歳～65歳では「その他」の回答が、66歳～75歳では「家庭の都合や金銭的な理由により中学校に行くことができなかった」の回答が、76歳以上～では「戦後の混乱期で小学校に行くことができなかった」、「家庭の都合や金銭的な理由により小学校に行くことができなかった」の回答があがっている。

### 《問 38 副問2×問 38 副問3のクロス分析》

		全体	戦後の混乱期で小学校に行くことができなかった	戦後の混乱期で中学校に行くことができなかった	家庭の都合や金銭的な理由により小学校に行くことができなかった	家庭の都合や金銭的な理由により中学校に行くことができなかった	病气やけがのため、小学校に行くことができなかった	病气やけがのため、中学校に行くことができなかった	不登校等の理由により小学校からほとんど学校に行くことができなかった	不登校等の理由により中学校からほとんど学校に行くことができなかった	外国籍で、日本の中学校にあたる教育を受けていない	外国籍で、日本語での読み書き、話すことができない	その他	無回答
【表の見方】 上段=回答数(人) 下段=比率(%)														
全体		42 100.0	2 4.8	- -	3 7.1	5 11.9	- -	2 4.8	6 14.3	13 31.0	- -	1 2.4	9 21.4	9 21.4
問 3 8 副 問 2	13歳～15歳	6	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	16.7	16.7
	16歳～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳～35歳	12	-	-	16.7	8.3	-	16.7	25.0	50.0	-	-	8.3	16.7
	36歳～50歳	9	-	-	-	-	-	-	33.3	44.4	-	-	33.3	-
	51歳～65歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	66歳～75歳	7	14.3	-	-	28.6	-	-	-	-	-	-	28.6	28.6
76歳以上～	2	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	

#### (4)通いたい、通わせたい理由について

副問3 (問38で「1」を選んだ方のみお答えください。)  
なぜ通いたい、通わせたいと思いますか。(いくつでも○印)

【総合】 「不登校等の理由により中学校からほとんど学校に行くことができなかった」が31.0%と1位になっている。

次いで「その他」が21.4%、「不登校等の理由により小学校からほとんど学校に行くことができなかった」が14.3%と続いている。

《総合》		回答数
全体	100.0	42 人
不登校等の理由により中学校からほとんど学校に行くことができなかった	31.0	13 人
不登校等の理由により小学校からほとんど学校に行くことができなかった	14.3	6 人
家庭の都合や金銭的な理由により中学校に行くことができなかった	11.9	5 人
家庭の都合や金銭的な理由により小学校に行くことができなかった	7.1	3 人
戦後の混乱期で小学校に行くことができなかった	4.8	2 人
病気やけがのため、中学校に行くことができなかった	4.8	2 人
外国籍で、日本語での読み書き、話すことができない	2.4	1 人
戦後の混乱期で中学校に行くことができなかった	0.0	- 人
病気やけがのため、小学校に行くことができなかった	0.0	- 人
外国籍で、日本の中学校にあたる教育を受けていない	0.0	- 人
その他	21.4	9 人
無回答	21.4	9 人

グラフ単位：(%)

